



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL <https://www.pegasus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 佐藤 文泰 (TEL) 06(6451)1351
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,001	51.8	262	—	261	—	180	—
2021年3月期第1四半期	3,294	△25.8	△230	—	△134	—	△213	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,266百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △675百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	7.29	—
2021年3月期第1四半期	△8.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	31,980	23,154	70.1
2021年3月期	29,846	22,061	71.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 22,410百万円 2021年3月期 21,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,300	78.1	610	—	580	686.7	370	—	14.91
通期	17,510	41.0	1,050	103.5	980	43.9	560	△20.8	22.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	24,828,600株	2021年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	17,976株	2021年3月期	17,976株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	24,810,624株	2021年3月期1Q	24,810,656株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は、2021年8月13日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がワクチン接種の進展により、抑制されてきつつあり、米国及び欧州を中心とした追加経済対策の効果で回復に向かいました。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン業界におきましては、中国を筆頭に北中米及び東南アジアの一部地域で設備投資の需要が高まってきております。

ダイカスト部品事業におきましては、自動車の需要は急回復してきておりますが、世界的な半導体の供給不足による自動車生産の停止もしくは遅延の影響を受けております。

このような環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は50億1百万円（前年同四半期比51.8%増）、営業利益は2億62百万円（前年同四半期は営業損失2億30百万円）、経常利益は2億61百万円（前年同四半期は経常損失1億34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億80百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億13百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(工業用ミシン)

工業用ミシンにつきましては、アパレル消費の主要となる米国及び欧州などでの需要の回復に伴う設備投資が見られ、売上高は40億51百万円（前年同四半期比51.0%増）、セグメント利益は4億60百万円（前年同四半期比1,330.2%増）となりました。

(ダイカスト部品)

ダイカスト部品につきましては、従前より取り組んでまいりました販路拡大に向けた販売活動の強化により、売上高は9億50百万円（前年同四半期比55.4%増）、セグメント利益は73百万円（前年同四半期比288.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて16億9百万円増加し、228億67百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が12億86百万円、現金及び預金が2億23百万円、原材料及び貯蔵品が2億10百万円、仕掛品が1億29百万円それぞれ増加し、商品及び製品が2億50百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5億24百万円増加し、91億13百万円となりました。これは、有形固定資産が4億28百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて21億34百万円増加し、319億80百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9億93百万円増加し、55億10百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億58百万円、短期借入金が2億98百万円、その他が2億14百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加し、33億15百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて10億41百万円増加し、88億25百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10億92百万円増加し、231億54百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が10億23百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,659,115	8,882,118
受取手形及び売掛金	3,619,713	4,905,806
商品及び製品	4,442,859	4,192,748
仕掛品	738,116	867,773
原材料及び貯蔵品	3,453,410	3,663,802
その他	357,668	383,144
貸倒引当金	△13,082	△28,070
流動資産合計	21,257,801	22,867,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,675,393	4,792,304
その他（純額）	2,943,484	3,254,735
有形固定資産合計	7,618,878	8,047,040
無形固定資産		
	505,654	528,499
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	149,517	152,929
その他	314,235	384,531
投資その他の資産合計	463,753	537,460
固定資産合計	8,588,285	9,113,000
資産合計	29,846,087	31,980,324
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,115,489	1,574,450
短期借入金	2,103,670	2,401,815
未払法人税等	52,829	84,239
賞与引当金	127,129	118,278
その他	1,117,371	1,331,505
流動負債合計	4,516,490	5,510,289
固定負債		
長期借入金	1,888,745	1,837,036
退職給付に係る負債	528,847	523,722
その他	850,061	954,743
固定負債合計	3,267,654	3,315,501
負債合計	7,784,144	8,825,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	15,703,763	15,710,836
自己株式	△5,365	△5,365
株主資本合計	20,937,036	20,944,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,512	11,574
為替換算調整勘定	367,086	1,390,468
退職給付に係る調整累計額	64,390	64,614
その他の包括利益累計額合計	443,989	1,466,658
非支配株主持分	680,917	743,765
純資産合計	22,061,942	23,154,533
負債純資産合計	29,846,087	31,980,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	3,294,879	5,001,773
売上原価	2,475,031	3,623,034
売上総利益	819,847	1,378,739
販売費及び一般管理費	1,050,509	1,116,455
営業利益又は営業損失(△)	△230,661	262,283
営業外収益		
受取利息	1,924	2,870
受取配当金	1,387	1,170
為替差益	46,207	—
助成金収入	62,020	9,058
その他	2,803	7,258
営業外収益合計	114,341	20,357
営業外費用		
支払利息	16,030	15,928
為替差損	—	5,266
その他	2,453	424
営業外費用合計	18,484	21,620
経常利益又は経常損失(△)	△134,803	261,020
特別利益		
固定資産売却益	—	2,464
投資有価証券償還益	22,090	—
特別利益合計	22,090	2,464
特別損失		
減損損失	—	17,415
特別損失合計	—	17,415
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,713	246,069
法人税、住民税及び事業税	28,051	81,754
法人税等調整額	62,681	△34,043
法人税等合計	90,732	47,711
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△203,446	198,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,645	17,610
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△213,092	180,747

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△203,446	198,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,264	△937
為替換算調整勘定	△462,263	1,068,619
退職給付に係る調整額	4,562	224
その他の包括利益合計	△471,966	1,067,906
四半期包括利益	△675,412	1,266,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△673,834	1,203,417
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,578	62,847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

なお、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品等の国内販売において、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。